

2019春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

N o . 3

2019年2月12日

日本鉄道労働組合連合会

貨物鉄産労第32回中央委員会

2019春季生活闘争方針を決定

～純ベア3,000円、期末手当年間4.5箇月以上（夏季2.1箇月以上）～

貨物鉄産労は、2月8日、尾張一宮市で第32回中央委員会を開催し、「安全の確立」「組織強化・拡大、民主化闘争完遂」「2019春季生活闘争勝利」などの当面する活動方針を満場一致で決定した。

委員会の冒頭、昨年発生した平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震による被害者に対して、出席者全員で黙祷を捧げ、哀悼の意を表した。

執行部を代表して挨拶にたった大杉正美中央執行委員長（JR連合副会長）は、2019春季生活闘争勝利にむけた決意として、19年ぶりのベースアップを勝ち取った昨年度に続いて今季もベア獲得に全力で取り組むと述べたうえで、人事賃金制度改正について会社との協議状況等を報告した。さらに、統一地方選挙、参議院議員選挙への意気込みも力強く語った。

委員会には、第25回参議院議員選挙に出馬を予定する森屋たかし氏が来賓として出席し、激励と連帯の挨拶を受けた。JR連合からは北村公次労働政策部長、中村鉄平交通政策部長が出席し、2月5日のJR連合第31回中央委員会で決定した当面の活動方針とともに、JR労働界を取り巻く最近の諸情勢を説明した。

議事では、執行部より当面する活動方針（案）を提起。出席者から安全課題、2019春季生活闘争、新人事・賃金制度、業務課題など現場実態などを踏まえた発言があり、辻村和裕書記長が一括して答弁を行った後、全議案を満場一致で決定した。

なお、2019春季生活闘争については、「純ベア3,000円」「期末手当年間4.5箇月以上（夏季2.1箇月以上）」を柱に、嘱託社員・パート社員の賃金引き上げや総合生活改善等の要求を掲げて取り組むこととした。

委員会宣言を採択の後、大杉委員長の団結ガンバローで閉会した。

以 上